

農業委員会だより

土岐市の農業

題字 土岐市長 加藤 淳司



発行／編集 土岐市農業委員会

スマート農業

について

スマート農業とは、ロボット技術や情報通信技術などの先端技術を活用し、省力化、生産性向上、環境負荷低減のノウハウの継承等を目指す新たな農業のことです。

具体的には、ドローンやロボットトラクターなどのスマート農機を導入し、データに基づいて農業を運営することで、持続可能な農業を実現しようとする取り組みです。ロボット技術やAIを活用することで、農作業の自動化・省力化を推進し、労働力不足を解消します。

また、環境負荷低減として、無駄な肥料や農薬の使用を減らし、環境に配慮した農業を推進するため、土岐市では、現在、環境に左右されない工場内葉物野菜の水耕栽培や無肥料・無農薬で微生物の力だけでおいしくちやん農法※の試耕といった新たな取り組みを意欲ある農業者にお願いしています。

これまでの先祖代々の土地を維持するためにも、若い方々が導入しやすい新しい農法への取り組みを支援してまいります。

※「ちやん農法」については、左記QRコードからご参照ください



●ご存知ですか？農地の売買や転用は、許可が必要です。

農地を耕作するために貸借・売買する場合は「利用権設定」農地法3条の許可、農地を宅地等に転用したり、転用するために所有権移転等する場合は、農地法4条または5条の許可が必要です。

◆ 農業委員会活動日誌 ◆

令和7年

- 5/27 農地転用現地調査
- 5/30 第5回農業委員会総会
- 6/24 農地転用現地調査
- 6/27 第6回農業委員会総会
- 7/29 農地転用現地調査
- 8/ 1 第7回農業委員会総会
- 8/26 農地転用現地調査
- 8/29 第8回農業委員会総会
- 9/30 農地転用現地調査
- 10/3 第9回農業委員会総会
- 10/28 農地転用現地調査
- 10/31 第10回農業委員会総会
- 11/15 農業だより発行

●**農業者年金について** 農業者年金は、国民年金の第一号被保険者で、年間60日以上農業に従事する六十歳未満の方なら誰でも加入できます。税金面でのメリットや国からの助成等もあります。ぜひご検討ください。

これまでを 振り返って

土岐市農業委員会 渡邊和男



平成二十三年から十四年間、農業委員を務めさせていただき、そのうち平成二十九年からは会長に就任させていただいております。地域や県内の農政に対する取組みについて現役の農業者の方々や行政の農業担当者と一緒に経験させていただきました。

その中で特に印象に残っていることは、昨今の物価上昇による米騒動や、担い手の高齢化に伴って農業が出来なくなってきた遊休農地の太陽光パネルへの移行などが著しく多くなってきたおり、土岐市内のそれぞれの地域における今後の農業振興区域の見直しの時期に来ていることを実感しております。

現在、土岐市農業振興整備計画の見直しを図っている最中で、現役農業者のアンケート調査結果からも地域によつては農業振興の見直しが必要との声も寄せられており、地域住民の皆様と農業者とで今後の土地利用の方向性を一緒に考えていくことが必要だと思っています。

ただ、これまで農業を続けてきた一農業者としては、緑豊かな田園風景が消えていく様は非常に寂しく、時代の流れを痛感しております。

田植え・稲刈り 体験（小学校）

令和七年度も駄知町の酒井勇農業委員所有の水田で駄知小学校5年生の田植え・稲刈り体験学習が実施されました。

昨今の米不足の影響か、子どもたちも真剣に酒井農業委員の話に聞き入っており、若い世代の担い手候補として育ってもらえらと思います。



農地中間管理機構（農地バンク）を活用しましょう

■農地を借りたい人「借受希望者の募集」に応募

■農地を貸したい人 原則十年以上の貸付となります。

■メリット

農地中間管理機構を通じて農地の貸借をすることで、借り手は農地の集積・集約化ができ、貸し手は固定資産税の軽減の対象になります。（交付要件有り）

お楽しみ農園で野菜作りをしてみませんか

市内のお楽しみ農園に空き区画がまだあります。野菜作りに興味を持っている方、畑を探している方が見えれば、ご活用してみてもどうでしょうか。詳細は、産業振興課農林係の窓口でご確認ください。

土岐市農業委員会事務局

TEL…54-1214
FAX…55-7763